JCFN 代表主事レター

2026 年 9 月

最近では、暑い暑い夏も終わりを迎えようとしているのかな、と思えるような日が続くようになってきました。しかし、この夏、日本では地震や豪雨による水害などの自然災害が相次ぎ、気持ちの上でも、なかなかホッとできる時を過ごせていない方も少なくないのではないかと思います。

この季節も、皆さまの上に主の平安と守りがありますように、お祈りしています。

◎ 星野優主事就任！◎

昨年 6 月末、理事会より主事候補として承認され、これまでサポートレイズに取り組んできた星野優さんが、9 月 1 日付で主事として就任することができました。

当時、協力主事であった尾上由香さんとのアカウンタビリティーを通してデピュテーションの準備を進め、押し出されるようにして教会訪問や個人へのアピールに努めてきました。サポートレイズの期間中も JCFN の働きに関わり続け、御茶ノ水や千葉でのスモールグループ、東京の帰国者集会 GiFT のコアメンバー、EC26 や GRC27 の実行委員として、さまざまな働きに携わってくれています。

また、この 4 月からは、2 年間の予定でサムライプロジェクツでの訓練と学びの時を持っています。教団や教会においても青年・ユースの働きを任されており、JCFN の内外でいくつもの「帽子」をかぶりながら歩むことが許されています。

今回、主事として就任することにより、JCFN における責任がさらに増していくことになりますが、これまでと同様に、サムライプロジェクツでの訓練と学び、また教団や教会での働きも継続していく予定です。

これから主が星野主事を通してなされる御業に期待しつつ、ともにこの働きを進めていくことができればと願っています。

9 月 26 日には、星野主事の母教会である東京聖書学院教会にて就任式が行われる予定です。これからの星野主事の働きのために、ぜひお祈りくだされば幸いです。また、御茶ノ水の日本事務所に常駐する予定ですので、お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。本人も「ハーゲンダッツの差し入れ、お待ちしてま〜す」と申しておりましたので、ぜひお気軽にお立ち寄りいただければと思います。

◎ WIT26 の報告 ◎

WIT26（Whatever It Takes）リーダーシップキャンプが、7 月 8 日から 11 日まで、16 名のリーダーたちとともに開催されました。参加者の一人、大関はるねさんが素晴らしい証しを書いてくださいました。

初めに WIT のお話をいただいた時は、Jesus follower になってからまだ 2 か月弱で、「私には Leadership Camp はまだ早い」と思っていました。しかし、WIT26 のセッションを通して、人間の弱さや神様の愛、信仰の友や相談できる相手の大切さ、リーダーとしてのあり方を学びました。リーダーたちが立ち向かった試練や、そこでの彼らの信仰、そして神様の業を聞く中で、本当に人は弱いけれど、神様は絶対に私たちのことを諦めず、ずっと一緒にいてくださり、どんな状況からも助けてくださる方であることを実感することができました。また、祈りの中で、まだ神様のことを知らない家族や友達のことを思い出し、涙が止まりませんでした。その時初めて、私自身が、まだ救われていない人たちに神様のことを知ってもらいたいと心から願っていることに気づきました。

たった 4 日間でしたが、神様は私に、まだ神様を知らない人たちに伝えたいという思いを与えてくださいました。そして、宣教師になったり、教会で奉仕したりすることだけが神様のために生きることではなく、神様が遣わしてくださった場所で、与えてくださったことを全力で行い、私の持てるすべてを通して神様を周りの人に示していくことができるのだと教えられました。私にはまだ早いと思っていた WIT でしたが、クリスチャンである期間に関係なく、神様は私を用いてくださることに気づかされました。**It's not about me.** 神様が与えてくださった環境で神様を求め続け、神様に委ね、与えられた使命を、たとえ結果がすぐに現れなくても諦めずに、私の人生をかけて全うし続けたいです。

今回の WIT は、現在 JCFN が直面している新しい現実を肌で感じる機会となりました。参加者 16 名のうち、留学生でいずれ日本に帰国する予定の人は 6 名、北米に永住する人は 10 名でした。

日本人留学生の減少や留学期間の短期化が進んでいる一方で、伝道という面では、人数が減った分、一人ひとりの求道中のケアや信仰の成長に、より丁寧に関わることができるようになっていると感じています。しかし、リーダーシップトレーニングという面では、滞在期間の短期化が大きな影響を与えており、その結果として、WIT 参加者に占める永住者の割合が増えているのだと思います。

この新しい現実が、これからの JCFN の北米での働きにどのような影響を与えていくのか、また、その中で神様が JCFN に何を求めておられるのか、祈りつつ求めていく必要があると感じています。

◎ ARISE ASIA ◎

2023 年から始まった若者の宣教運動「アライズ・アジア」の大会「アライズ・アジア 2026」が、7 月 27 日から 31 日まで、フィリピン・マニラで開催されました。「For the Joy（喜びのゆえに）」をテーマに、54 カ国から 4,278 人が集まり、日本からも約 70 名の若者とリーダーが参加しました。

アライズ・アジアは、アジアの若い世代がキリストに従い、福音がまだ十分に届いていない地域へと遣わされていくことを目指す宣教運動です。JCFN からは、清水が通訳およびシニアサポーターとして参加しました。また、レディントン主事候補をはじめ、EC ユースなどにも関わっているユースミニストリー「DUNAMIS WINGS」の関係者やリーダーたちも参加しました。

今回、特に強調されたのは、「困難な地から困難な地へ」という宣教の姿でした。「困難な状況の中で信仰を守り、神様に支えられてきた経験そのものが、別の困難な場所へと遣わされ、そこに生きる人々に寄り添う力となる」というチャレンジが語られました。

✿JCFN のためにお祈りください✿

◎星野優さんが無事に就任できたことを感謝します！これからの星野主事の働きが祝福され、豊かに用いられるよう、続けてお祈りください。

◎ デピュテーション中の主事候補、平瀬明里さんとレディントン香さんのためにお祈りください。巡回の働きが祝福され、霊的に守られ、良いネットワークが広がり、必要な支援が満たされるようお祈り下さい。

◎夏の働きが守られたことを感謝します。お祈りをありがとうございました。アメリカでは秋学期、新学年が始まり、各キャンパスでの伝道の働きも再開しています。福音の種が豊かに蒔かれ、救われる魂が起こされるように、また、それぞれの働きを担うリーダーたちのためにもお祈りください。

◎ EC26 の申し込みが始まり、準備も進んでいます。奨学金のためのファンドレイズが祝福され、必要が満たされるように、また、多くの方々が参加できるようお祈りください。

◎ 世界に平和と正義がもたらされるようお祈りください。イラン、イスラエルとガザ、ウクライナの人々が守られ、争いが終結へと向かうようにお祈りください。また、各地で自然災害の被害に遭われた方々が支えられ、被災地の復旧・復興が進むよう、共にお祈りしましょう。

連絡先： Japanese Christian Fellowship Network　www.jcfn.org
北米本部： P.O. Box 17982, Irvine, CA 92623-7982 USA　ushq@jcfn.org　tel　657-247-0233
日本本部： 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC ビル内　nihon@jcfn.org　tel/fax:03-5217-2505

献金方法：①オンライン献金： USドル http://bit.ly/GiveJCFNonlineUS　日本円 https://jcfn.org/donationJP
②アメリカ：小切手による献金：小切手の宛先はJCFNにし、上記のP.O. Boxまで送付下さい。
③日本：（郵便振替） 加入者名：JCFN 口座番号：00100-8-565348
（みずほ銀行）九段支店 店番号532　口座番号1161342
口座名：JCFN日本代表　山﨑龍一 [JCFN ニホンダイヒョウ ヤマザキリュウイチ]